

No. 15

冬の野鳥

冬になると北の国や高い山から餌を求めて野鳥たちが平地に降りてきます。
葉が落ち、鳥の姿がよく見えます、双眼鏡を持ってじっくり観察しながら歩きましょう。



1 : ジョウビタキ



2 : ルリビタキ



3 : アオジ

- ① **ジョウビタキ**(ツグミ科) 体長約 14cm。10月下旬頃、北の国から渡ってきます。渡ってきた当初は縄張り宣言のためヒッヒッとよく鳴きます。翼に白い紋があり紋付鳥と呼ばれています。
- ② **ルリビタキ**(ツグミ科) 体長約 14cm。12月上旬頃、国内の高山より移動して来ます。ヒッ、ヒッと鳴く声はジョウビタキに似ています。オスの羽は瑠璃色で非常に綺麗。冬鳥の中では一番の人気者です。
- ③ **アオジ**(ホオジロ科) 体長約 16cm。12月上旬頃、国内の高山より移動して来ます。四ツ沢などで地面の草の実を拾っています。オスの腹部は黄緑色で綺麗です。夏、山で見事なさえずりが聞こえます。



4 : ウソ



5 : イカル



6 : ベニマシコ

- ④ **ウソ**(アトリ科) 体長約 16cm。12月下旬頃より国内の北の方又は北国より移動して来ます。フィ、フィと口笛のような声で鳴く。サクラのつぼみが好物で他にウリカエデやヤマハゼの実も食べます。
- ⑤ **イカル**(アトリ科) 体長約 23cm。夏も少数いますが冬、数が増えます。駐車場のヌルデの実を食べに、多い時は 30羽以上来る時があります。黄色い鮮やかな^{くちばし}嘴をし、綺麗な声で^{さえずり}囀ります。
- ⑥ **ベニマシコ**(アトリ科) 体長約 15cm。12月初旬頃、北の国から渡ってきます。駐車場付近の河原で草の実を食べています。オスは赤く、目を見張りますが、メスが地味であり目立ちません。